

事務事業名	内職相談・求職支援事業	整理番号	44204-000
所 管	商工観光課 商工労政スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和年度 ~ 平成年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 4-4 新しい産業の育成と雇用の増大 政策 4-4-2 新たな就業形態の促進	関連政策	4-5-1 就業能力教育の推進 2-2-6 生活保障の充実

事務事業の内容

目的 (何のために)	子育てや、高齢のため働きに出ることの出来ない人のために、ハローワーク等で斡旋していない内職を紹介する。また、未就職の若年者が就職するため、あるいはフリーター、ニートから脱却するための、助言指導を行なう。
対象 (誰・何を)	内職を探す市民と、発注する企業。定職に就くことの出来ない人や、その家族。
手段 (どのようなやり方で)	内職については、職業の募集斡旋を相談員を配置し実施。求職支援については、県より相談員を派遣してもらい相談業務を行なう。
成果 (どのような状態にしたいか)	家庭内での労働を通じ、社会への参加をするとともに、生活の安定を図る。未就職若年者を減少させる。
事務事業の背景・住民の意向	家計の一助となるよう、仕事を求める人からの要望。定職に就かない若者の増加。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)												
平成16年度	内職相談件数566件、就職支援相談6件	<table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>~1,000</td> <td>~1,500</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>~1,000</td> <td>~1,500</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>~1,000</td> <td>~1,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	16年度	~1,000	~1,500	17年度	~1,000	~1,500	18年度	~1,000	~1,500
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
16年度	~1,000		~1,500											
17年度	~1,000	~1,500												
18年度	~1,000	~1,500												
平成17年度	内職相談件数520件、就職支援相談8件													
平成18年度	内職相談件数482件、就職支援相談11件													

評価指標

内職斡旋件数(件)	相談1件あたりコスト(円)	新規高卒者就職率(%)																														
<table border="1"> <caption>内職斡旋件数(件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>~150</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>~120</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>~70</td> </tr> <tr> <td>H20目標</td> <td>~200</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	H16	~150	H17	~120	H18	~70	H20目標	~200	<table border="1"> <caption>相談1件あたりコスト(円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>~4,300</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>~4,800</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>~4,900</td> </tr> <tr> <td>H20目標</td> <td>~4,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	コスト	H16	~4,300	H17	~4,800	H18	~4,900	H20目標	~4,500	<table border="1"> <caption>新規高卒者就職率(%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>就職率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>~98.5</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>~99.5</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>~99.5</td> </tr> <tr> <td>H20目標</td> <td>~99.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	就職率	H16	~98.5	H17	~99.5	H18	~99.5	H20目標	~99.5
年度	件数																															
H16	~150																															
H17	~120																															
H18	~70																															
H20目標	~200																															
年度	コスト																															
H16	~4,300																															
H17	~4,800																															
H18	~4,900																															
H20目標	~4,500																															
年度	就職率																															
H16	~98.5																															
H17	~99.5																															
H18	~99.5																															
H20目標	~99.5																															

事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント	今後の方向性												
<table border="1"> <tr> <td>観点別評価</td> <td>必要性</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>有効性</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>効率性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一次評価</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </table>	観点別評価	必要性			有効性			効率性		一次評価	A		内職相談は他機関では対応しない業務を負っており、相談者も相当数ある。また、就職支援相談は、近くに相談窓口があるということが重要です。	継続
観点別評価	必要性													
	有効性													
	効率性													
一次評価	A													
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント	今後の方向性												
二次評価	C	手段改善												

改革プラン

平成19年度からの対応	18年度内職相談については、職員で対応し週1回の相談日の設定だったが、臨時職員を相談員として雇用し、週2回実施。就職支援相談は月2回実施していたものを、月1回に変更。
平成20年度以降の対応	就職支援相談の内容の充実、高校での労働教育の実施を検討。
改革により予想される成果	仕事を提供してくれる企業に対する対応を充実させることができる。